

## プログラミングスイッチ レゴ用 DP-L

ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みください。  
また、いつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管してください。この製品は、改良やその他の理由から予告なく仕様を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

### 安全上の注意

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を示します。



行為を強制したり指示する内容を示します。



注意



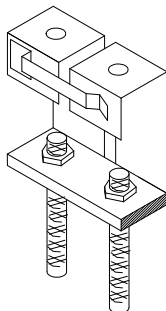
- 本体の板バネ部分は壊れやすいので乱暴に扱わないでください。破損の恐れがあります。

### 1. お使いになる前に （内容の確認）

次の付属品が入っている事をお確かめください。不足のある場合は、販売店又は当社営業担当者までお問い合わせください。

| 名 称         | 個数 | 備考     |
|-------------|----|--------|
| プログラミングスイッチ | 1  | 板ばね付き  |
| 理科用指導書      | 2  | A5 サイズ |
| 取扱説明書       | 1  | 本書     |

#### プログラミング スイッチ



理科用指導書

取扱説明書

## 2 使用方法

### 2.1 とりつけ方法

レゴブロックに本品を取付けます。ブロックの横から差し込むと取付け易くなります。

### 2.2 モータが回転して灰色ビームが板バネの接点をおすとギザ端子間が導通して電気スイッチの動作をします。

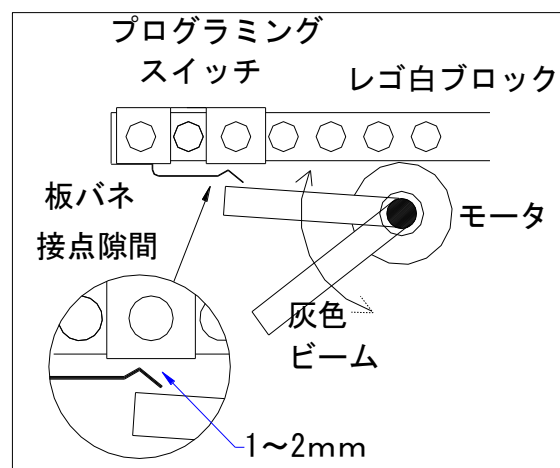
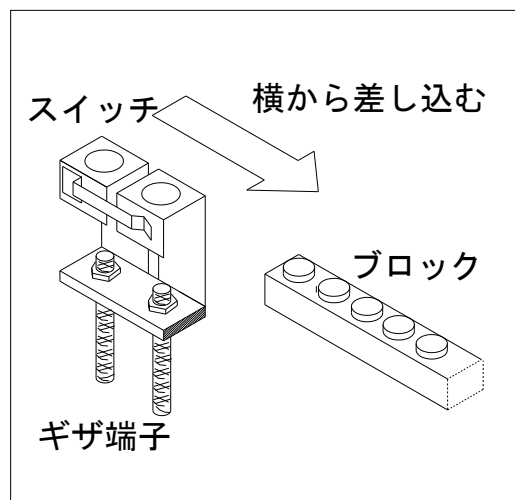
### 2.3 回路の接続

本体下部のギザ端子部にみの虫導線などで回路を接続します

### 2.4 実験の詳細やソフトウェアの使用方法は付属の「理科用指導書」をご参照ください。

### 2.5 接点の調整

モータのビーム部（レバー部分）が回転しても接点（板バネ部）に隙間ができスイッチが働かない場合があります。その場合はスイッチの板バネ部分を若干曲げて接点の隙間を 1~2mm 程度に狭くしてください。



## 3 お手入れについて

- 実験器に汚れが付いた場合は、水を硬く絞った柔らかい布で拭いてください。取れにくい汚れは中性洗剤を使用し、洗剤の使用後は布で拭き取ってください。
- クレンザー(磨き粉)、灯油、酸、アルコール、ベンジンやシンナー等の溶剤、及びこれに類するものは、故障の原因になりますので絶対に使用しないでください。

## 4 仕様

| 名 称         | 内 容                                   |
|-------------|---------------------------------------|
| プログラミングスイッチ | 金属製、ニッケルメッキ、板バネ接点付き<br>サイズ：25×15×38mm |
| 理科用指導書      | A5 サイズ、授業指導用 2 部                      |
| 取扱説明書       | 本書                                    |

※ 本器の仕様および外観は、改良のため予告なしに変更することがあります。

株式 内田洋行  
会社

東 京／ TEL 03 (5634) 6280  
北海道／ TEL 011 (214) 8630

大 阪／ TEL 06 (6920) 2480  
九 州／ TEL 092 (735) 6240

〒104-8282 東京都中央区新川 2-4-7

<http://school.uchida.co.jp>